



## Brand-New

(生まれたばかりの、まっさらな)

福山市に、今また新しい風が吹き始めている。

福山市は中核市としての都市の顔を持ちながら、古くからの伝統や技術が息づくロマンのまちでもある。

どちらも福山の「顔」。レトロモダンなまちの魅力は、懐かしくて、新しい。

# それは1本のばらから始まった。



「ばらのまち福山」の始まりは、1956年(昭和31年)の春。戦災で荒廃したまちに潤いを与え、人々の心に和らぎを取り戻そうと、人々がばらの苗1,000本を植え、後に現在のばら公園ができた。当時の地域の熱心なリーダーたちと、市長のロマンティシズムの呼吸がぴったりと合ったことが、このばら公園を誕生させたといえる。最初の1本から始まったばらのまちづくりも、この情熱があったからこそであり、その協働のこころは今も市民に受け継がれている。



**新** 幹線の窓から見える福山城。古くから潮待ちの港として栄えた鞆の浦。協働のこころの原点、ばら。福山市は、瀬戸内海の中央に位置し、穏やかな気候と豊かな自然に恵まれ、個性豊かな歴史と文化をはぐくんできました。また、優れた技術を持つオリーワン・ナンバーワン企業が多く立地する全国屈指の「ものづくり」のまちという顔も持つ、多種多様な魅力にあふれるまちです。

福山の良さを、全国のみなさんに知っていただきたい。そうしたい思いを、この総合情報誌「えと福山」に込めました。福山が大好きな人たちが、福山の魅力について熱く語り、みなさんをふるさと福山へご案内いたします。

「懐かしくて、新しい。福山」を味わっていただければ幸いです。

福山市長  
羽田 皓

